

千葉市営競輪休止期間中の特別開催について

千葉市では、令和7年10月から千葉市営競輪の開催を休止していますが、このたび、ファンの声にお応えするため、令和9年度に250競走を千葉JPFドームにて特別に開催（1回2日間）する方針としました。また、休止期間中の千葉JPFドームでの取り組みについても、併せてお知らせします。

1 開催内容（予定）

本年6月25日に開催された第198回競輪最高会議において、以下の内容で承認されています。

（1）競走種目（グレード）

250競走

（2）開催時期

令和9年度

※開催日程については、決まり次第改めてお知らせします。

（3）開催回数

1回（2日間）

※令和9年度当初予算案の議決により決定します。

2 休止期間中の千葉JPFドームでの取り組み

休止期間中、千葉JPFドームでは全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）等の自転車競技大会の開催や、親子で楽しめる自転車教室、さまざまなミッションを通じて自転車スキルのレベルアップを図るサイクルダンジョン等のイベントを定期的に行っています。

また、学生等競技者の練習場として施設を開放するとともに、夏まつり等の自転車関連以外のイベントやテレビ番組等のロケ地としても施設の貸し出しを行っています。

千葉駅北口エリアのさらなるにぎわいや交流を創出するため、千葉公園の中核施設として、引き続き施設の有効活用を図っていきます。

今後の千葉JPFドームにおけるイベントについては、公式ホームページをご確認ください。

【URL】 <https://chiba.pist6.com/news/9819.html>



＜参考＞

1 250 競走について

1 周 250 メートルの屋内木製バンクを舞台に、オリンピックや世界選手権などと同様の国際ルールに基づいて行われる競輪であり、スポーツとしての自転車競技と公営事業としての競輪が融合した、世界初の取り組みです。

6 人の選手が、6 周 1,500 メートルを走ります。レースは勝ち上がり方式で、予選から決勝まで 2 日間にわたってレースを行い、最終的な勝敗を決定します。

2 休止理由について

250 競走は既存の競輪と制度が異なるため、開催に当たり独自の情報システムを使用していることから、車券発売チャネルが限定され、車券購入者が一部のファンにとどまっていました。

より多くの皆さまに 250 競走を楽しんでいただくことで、自転車競技をさらに振興するとともに、収益を活用した社会貢献を一層充実させるために、車券発売事業者が 250 競走の車券を取り扱いやすくなるよう開催形態の見直しを行う間、250 競走の開催を一時休止することとしました。

3 競輪最高会議

競輪界における最高意思決定機関として、自転車競技法第 55 条の 2〔関係者の責務〕の趣旨を踏まえ、競輪の活性化は基より、競輪事業の運営のあり方および方向性などについて審議し、より良い競輪の姿を目指すために設置されたもの。

○構成委員

会長 公益社団法人全国競輪施行者協議会会長

委員 公益財団法人 J K A 会長および専務理事および常務理事 1 人

公益社団法人全国競輪施行者協議会理事長および専務理事

一般社団法人日本競輪選手会理事長および専務理事